

# 年頭の「あいさつ」

甘日市市長 眞野勝弘

市民の皆さま一人一人が  
幸せに暮らせるまちづくりに  
まい進していきます。



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた清々しい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、旧年中は、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

昨年8月の広島市土砂災害をはじめとする大雨や9月の御嶽山の噴火など、さまざまな自然災害に見舞われた年でした。被災された方々に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

近年、私たちの経験や想像を超えた大規模な自然災害が各地で頻発しており、本市においてもハード・ソフトの両面から防災体制の強化に努めていますが、どのような災害に対しても、自分の身は自分で守る「自助」、隣近所で助け合う「共助」が大切です。

市内各地域では、自主防災組織による避難訓練や研修などが

開催されていますので、積極的に参加され、自己防衛意識の高揚や地域の絆を深める機会とされますことを願っております。

また、現在の我が国が抱える課題の一つに、人口減少問題があります。国においては、昨年9月の内閣改造時に地方創生担当相を新設し、国・地方が一体となって人口減少対策などに全力で取り組む姿勢を打ち出しました。

本市にとっても大きな課題の一つと捉えており、将来にわたって持続可能なまちであり続けるために、さまざまな定住施策に取り組んでいます。

今年5月には、大型商業施設（ゆめタウン）が下平良二丁目地区にオープンする予定ですが、買物の利便性の向上だけでなく、雇用の場の創出としても、定住促進につながっていくことに期待を寄せています。

人口減少に歯止めをかけることは、一朝一夕に解決できる問

題ではありませんが、今後も地域の特性を生かして、「住んでみたい」「住み続けたい」と思っていただけけるまちづくりを行いたいと考えております。

そのような中、2016年の（注1）ASTCアジアアスロン選手権の開催地が本市に決定しました。

大会の招致には、本市以外にも2都市が名乗りを上げていましたが、世界文化遺産のある「宮島」を有していることや、「はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会」で、毎年、多くの市民ボランティアの協力が得られていることなどが、高く評価された結果であると考えております。

大会が開催されることで、本市の魅力が国内外に発信できることや、地域の活性化・経済効果への波及に期待しております。多くの皆さまに夢と感動を与えられる大会とするためには、市民の皆さまや企業・団体の皆

さまとの連携が不可欠でございますので、ご協力をお願いいたします。

そして、平成21年度に策定した第5次総合計画の期間は、残すところ1年余りとなり、計画に掲げた各種施策は、皆さまのご協力により順調に進めることができっております。

また、まちづくりへの理念や将来像、方向性を市民の皆さまにお示しするとともに、計画的な行政運営を図るため、現在、第6次総合計画の策定に取り組んでいます。

これからも、市民の皆さま一人一人が幸せに暮らせるまちづくりにまい進してまいりますので、引き続き、市政へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、新しい年が皆さまにとりまして、健康で喜びと幸せに満ち溢れた1年となりますことを心から祈念いたします。新年のあいさつといたします。

注1【ASTC】 アジアアスロン同盟の略称